



冬休みだ！

今日配布する「進路通信」に、「みんなが努力しているこの日比谷で、例えば定期考査の学年順位を30位上昇させるようなことは並大抵のことではない。クラスの中だっ、て、5位上昇させることは難しいことだろう。だから、目に見える形で(例えば数字で)成績が上昇していることを実感するのはなかなか難しい。つまり、日比谷の中にいると、自分がやっている勉強の成果がなかなか感じられないということだ。」

と書いておいたのだが、13Rに関して前期末考査の結果と今回の後期中間考査の結果を比較してみると、5教科平均偏差値の順位で30位以上変化した人は、

○上昇 6名(男子2名、女子4名)

○下降 5名(男子1名 女子4名)

ということになる。

成績を上昇させるのは、上述の通りなかなか難しいことであると思うから、上昇した6名の諸君は、かなりがんばったと言えるだろう。立派である。

一方で、がんばっても、がんばっても成績があまり向上しない…という人もいるに違いない。しかし、がんばらなければ成績は下降するのだ。そう、成績を下降させるのは簡単である。体調が不調だったという不運な人もいるだろうが、そもそも勉強する気持ちが高まらなかったり、手を抜いたり、うっかり寝過ごしてしまったり、ヤマがはずれたり…と、いろいろ分析は可能だろうが、要はしっかり準備しなければ、この日比谷では容易に成績は下降するのである。

*

ということで、なかなか目に見えて成果の上がない、しかも、ゴールさえもが簡単には見通せない、厳しいレースをあと2年間も展開することになる。しかし、繰り返すが、そのレースをしっかりと戦い続ければ、必ずその努力に見合ったゴールが見えてくるのである。それは先輩方が証明しているし、年々そのゴールのクオリティが向上していることもご存じの通りである。

自分にそんなことが可能なのだろうか…と思えるようなことが、一日一日、学校の授業を大切にしていると実現できる環境にいるのである。しかも、大変だと感じているのは自分だけではない。周囲の人も、みんな大変だ…大変だ…と思いながら、それぞれに努力しているのである。こういう環境を生かすも生かささないのも、すべては自分にかかっている。どうか高め合う友人を見つけて、この環境をうまく活用してほしいものである。

*

さて、冬休みだ。「短い！」と嘆いている人もいたが、例年25日に終業集会、新年8日に始業集会があることを考えると、いつもの年よりも5日間も休みが長いことになる。この長い？休みを利用して、宿題ばかりでなく、し残したことがある人はそれを片付けるように努力しよう。

同時に、この時期は「家族」の時期でもある。家族の一員として、お手伝いや旅行(帰省)、団欒などを通してきずなを深める(そして、資本を蓄える…笑)ことも大切である。

よい冬休みを！